

2026B 日程一般論文

出題趣旨・採点基準

<出題趣旨>

本問では、民主主義国同士は戦争をしないとする「デモクラティックピース（民主主義の平和）論（以下 DP 論）」を主題とする文章をとりあげ、指定された時間内に、また要求された分量で、その内容の要点を的確に整理することができるかどうか、またその内容をふまえたうえで、提示された意見に対する自らの賛否について論理的に展開できるかどうかを問うている。それらにより、法科大学院での学習や法曹実務で必要となるであろう、基本的な文章力・読解力や論理的思考力を測ることを目的としている。なお試験時間の変更に伴い、昨年度より問題文の分量は多めとなっている。

<採点基準>

設問 1（30 点）

- ・以下の要点を的確に読み取っているか。
 - ・ DP 論の基本的主張やその根拠
 - ・ DP 論に含まれる不確かさ
 - 「民主主義国家」概念の曖昧さ、他の説明の可能性など
 - ・ DP 論における「平和」の射程
 - 非民主国との関係等は対象外、戦争を正当化する可能性など
- ・また指定の行数でそれらを整理できているか。

設問 2（30 点）

- ・提示された意見に対する賛否として理由や論旨が明快か
- ・ありうる反論も検討するなど多面的に論じられているか
- ・問題文の内容をふまえた内容となっているか。
- ・問題文の主張と自身の考えを区別しているか

※その他：

- ・議論の流れの一貫性や主張の明確さが際立つ答案に、最大プラス 40 点
- ・字数が極端に少ない答案は大幅減点。誤字脱字は著しい場合のみ最大マイナス 20 点